

椎葉村立椎葉中学校の学力向上への取組

1 平成17年度の本校の学力調査結果及び意識調査結果から見た課題

(1) 学力調査の結果からの課題

- 各教科の平均到達度は県平均よりも超えている。
- 国語の書く力、読む力について改善を要する。(主語の指摘・文節の区別、文脈に即した内容の理解等)
- 数学の数量関係について改善を要する。(数量の関係を式で表現)
- 英語の応用・発展的な力を必要な内容について改善を要する。(表現、文法・表現・英作文、英語的表現、会話の状況把握)
- 理科の自然事象についての知識・理解について改善を要する。(実像と虚像、焦点距離、物体にはたらく力、地層の様子、気体の発生)
- 社会の中世の日本について改善を要する。(元寇と鎌倉幕府、武家と公家の関係)

(2) 意識調査結果からの課題

- 学びの基礎力について改善を要する項目
 - ・ 自ら学ぶ力：学習スキル・学習計画力
 - ・ 学びを律する力：学習のけじめ・学習継続力
- 生きる力について改善を要する項目
 - ・ 問題解決力：筋道を立てて、ものごとを考えることができる。自分の意見や考えを相手に分かりやすく伝えることができる。

2 学力向上に向けた課題解決への具体的な取組

(1) 学力向上に向けた経営方針

- 小学校の学習内容との関連を図り「読み」「書き」「計算」に関する意欲と能力の向上
- 数学・英語に関する基礎的・基本的な内容のくり返し指導の徹底
- 教師の指導力を高める研修の充実
- 家庭学習の習慣化を図るための指導と家庭との連携

(2) 教育課程内の取組

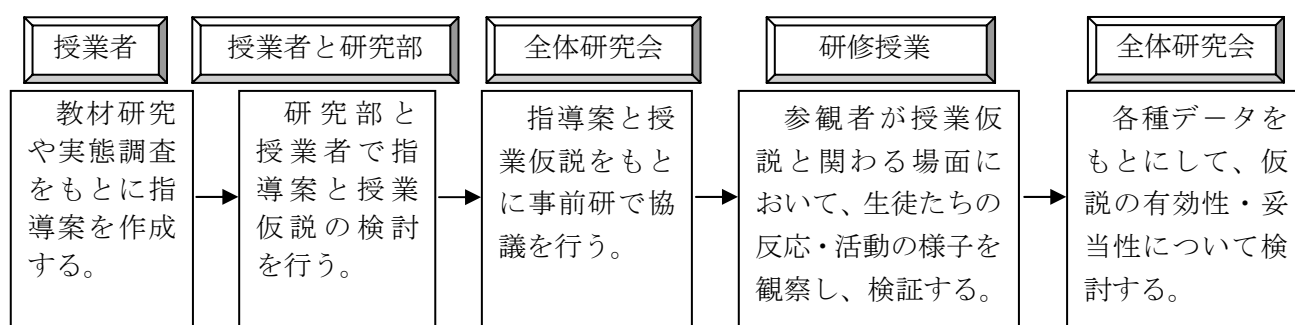
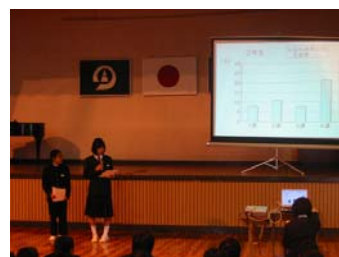
小学校の学習内容との関連を図りながら「読む能力」「書く能力」については、国語科を中心に「漢字等」に取り組んだ。「コミュニケーション能力」については、国語科と英語科での常時指導及び総合的な学習の時間での「テーマ学習」を通して育成を図った。「計算の能力」に関しては、数学科を中心として取り組んだ。それぞれ目標値を設定し、テストを作成・実施し、その結果の分析・考察を行い検証とした。

- 読む能力
 - ・ 学校生活の中に読書の時間をつくる。
- 書く能力
 - 「文章を書く能力に関すること」「言葉のきまりに関すること」「漢字等に関すること」の3つの観点から「到達目標値」を設定した。
 - ・ 漢字に関すること
 - 小学校で学習した漢字について1年生から3年生まで漢字テストを実施し定着を図った。1年生が900字、2年生が950字、3年生が1600字の漢字を目標とした。第1回目のテストを5月に実施し、その実態を確認した。第2回目のテスト(1月実施)結果の正答率により検証とした。
- コミュニケーション能力
 - ・ 国語科によるコミュニケーション能力
テーマ学習を推進する上で、読む・書く・話すの基本指導
 - ・ 英語科によるコミュニケーション能力
簡単な応答に関すること
 - ・ 毎日5分程度、教科書の英文を声に出して読むこと
 - ・ 基本文を含んだ教科書の文・重要基本英文や短い対話文の暗唱
 - ・ 英文を話す能力に関すること

- ・ ALT との積極的な対話
- ・ スピーチ (Show&Tell) や対話形式の文 (スキット) の作成及び発表会を実施し発表会での相互評価等を通して検証とした。
- 計算の能力
 - ・ 計算力向上のための手立て
毎日、A4 プリント 1 枚の課題を与え、既習内容の定着や計算スキルの向上を図った。教師がすべて添削し、間違えたところはヒントを与え、やり直しをさせて再提出させるようにした。また、正誤から理解度の実態を把握し、授業での個別指導に役立てた。
- ※ 連結する学年 (小 5・6、中 1・2) において算数・数学科の系統関係が分かる年間計画及び系統関係図の作成に取り組んだ。

(3) 教育課程外の取組

- 家庭学習の充実
 - ・ 学習のしおりを作成し、宅習の仕方について指導を行う。
- 読書活動の推進
 - ・ 朝登校後、学習準備ができたなら、各教室で各自読書を行いながら始業を待つ時間に位置づける。
- 委員会活動での啓発
 - ・ 委員会活動における月別読書数の平均冊数の状況を報告する。
- 教師の指導力を高める研修の充実
 - ・ 指導技術に関する研修と研究授業を連携させ、指導技術に関する意識を高め、授業の充実を図る。
 - ・ 研修授業は、6 回実施した。
 - ・ 研修授業実施にあたっては、下記の手順で事前・事後研修を行った。



(4) 保護者・家庭、地域との連携

- 毎月発行する学校新聞に啓発記事を掲載し、参観日等で実践状況に関する情報交換を充実させる。

3 成果と課題

<成果>

- 学力調査をもとに現状を把握し、対策を検討したので生徒に具体的に指導ができ学習効果を高めることにつながった。
- 教育課程外での読書活動や委員会活動での取組を通して、読書に対する啓発をすることができた。
- 連結する学年 (小 5・6、中 1・2) において算数・数学科の系統関係が分かる年間指導計画及び系統関係図の作成に取り組んだことにより小学校の学習内容との関連を図りながら細かな手立てを行うことができた。

<課題>

- 学力向上を目指した小・中連携の活性化をはかり、9 か年見通した学校の教育的課題を具体化し教育活動の改善につなげていく。